



風連中央小学校5年の柿川文音（あやね）さんが、道主催の平成18年度林野火災予防に関する作品で、知事賞（ポスターの部優秀）を受賞し、3月1日に同校で伝達式が行われました。

今回は、全道から1317点の応募があり、その中から受賞となりました。

この作品募集は、子どもたちに森林の重要性を認識してもらうことを目的に行われ、林野火災の予防啓発に広く活用されます。

## 3/1 柿川さんが林野火災予防 作品で知事賞を受賞

## 3/16 市のキャッチフレーズが 決まりました



市民の皆さんに名寄市のイメージと新名寄市総合計画（第1次）が目指す将来像とまちづくりに関心を持っていただくためのキャッチフレーズです。

"星・雪・きらめき"は、名寄市の豊かな自然環境のすばらしさや、いきいきとした市民の姿を表し、"緑の里 なよろ"は、天塩川の恵みに育まれてきた農業をはじめとする産業と人と人との結びつきを大切にして支え合い、一人ひとりが輝く名寄のまちを表しています。

## 3/11 第25回名寄ピヤシリ歩く スキー大会

国体開催記念北海道歩くスキー大会兼第25回名寄ピヤシリ歩くスキー大会が、なよろ健康の森を会場に行われ、幼児からお年寄りまで約420人が参加しました。

この日は気温が高く、雪も降る悪天候となりましたが、参加した選手は、自分の体力に合わせ3km・5km・10km・15kmのコースに分かれ、会話や自然を楽しみながら、ゴールを目指しました。

ゴールした後は、豚汁などで体を温め、一足早い春の1日を楽しみました。

